

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第二小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 115 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率（本校 70.4 / 泉佐野市 66.7 / 大阪府 67.6 / 全国 70.0）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて下位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 64.1 / 泉佐野市 59.2 / 大阪府 62.7 / 全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別配当表に示されている漢字を正しく読むことについては、概ね出来ている。</p> <p>1-1 友人を家に招く（→まねく） (98.3/97.5)</p> <p>1-2 自分の信念をつらぬく（→しんねん） (98.3/96.0)</p> <p>1-3 全員がすぐに承知した（→しょうち） (95.7/92.5)</p> <p>○文の中における主語を捉えることについては国に比べてよく出来ている。</p> <p>2-1 文の主語として適切なものを選択する。 (60.0/53.1)</p>	<p>【読むこと】 ○新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。</p> <p>5-2 コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。 (18.3/19.8)</p> <p>○作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ること課題がある。</p> <p>7 応募のきまりを守っていないものを選択する。 (67.0/73.9) ※無回答率が高い(9.6/4.3)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。</p> <p>1-3 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く。 (31.3/34.7)</p>	<p>【読むこと、書くこと】 ○登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することに課題がある。音読の工夫について、自分の考えを文章で表現することにも課題がある。</p> <p>3-2 声に出して読むときの工夫とその理由を書く。 (51.3/66.6) ※無回答率が高い(25.2/15.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	55.7	61.1	◇	5.4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	54.8	65.2	○	10.4
国語の授業などで意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	53.1	61.2	◇	8.1
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	60.9	55.2	◇	5.7

○自分の考えをまとめて書いたり，話したりすることに苦手意識がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 73.8 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 42.1 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○加法における計算の確かめの方法について概ね理解できている。</p> <p>1 (3) 6. 3 + 0. 2 2 = 6. 5 2 から 6. 5 2 - 0. 2 2 = 6. 3 を立式する (85.2/82.0)</p> <p>しかし、無回答が3.5%あり、小数・分数の苦手意識が大きいことに、関係していると考えられる。</p> <p>○繰り上がりのある加法の計算をすることは概ねできている。</p> <p>2 (1) 2 8 + 7 2 を計算する (96.5/98.2)</p> <p>○除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることに課題がある。</p> <p>2 (4) 5/6 ÷ 7 を計算する (78.3/84.2)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○日常生活の中で必要となる時刻を求めることに課題がある。</p> <p>3 時間をさかのぼって時刻を求め、問題を解決するために必要な情報を整理し、示された複数の条件に合う時刻を求める (67.8/74.8)</p>	<p>○角の大きさを正しく測定することは概ねできている。</p> <p>4 (1) 角の大きさを見当付けたものから正しいものを選ぶ (84.3/81.3)</p> <p>【図形】</p> <p>○円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることに課題がある。半径、二等辺三角形の性質を理解し、利用して問題を解くことが難しい。</p> <p>5 (2) 円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさを求める (57.4/64.5)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○グラフに表されている事柄を読み取ることが概ねできている。</p> <p>7 ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ (81.7/81.8)</p> <p>○式に表現された数量の関係を図と関連付けて理解することが概ねできている。しかし、何を求めるのか分からない無回答が7.8%いることが課題である。</p> <p>8 $3 \times 3 + 3$ の「+3」の意味 (83.5/88.1)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることに課題がある。また、問題の意味を理解し、問題と照らし合わせる力、巻き尺の性質の理解に課題がある。さらに、無回答も12.2%と高い。</p> <p>3 (1) 周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところで持てばよいか書く (28.7/31.7)</p> <p>○概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めれば良い理由を、言葉と</p>	<p>【図形】</p> <p>○平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせの理解は、概ねできている。</p> <p>1 (1) 平行四辺形の特徴を理解している (96.5/95.2)</p> <p>○平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質の理解、作図の技能に課題がある。</p> <p>1 (2) 作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (48.7/54.6)</p> <p>○示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見出し、その図形の性質を言葉と記号を用いて記述することに課題がある。必要な二つの特徴以外</p>

<p>数を用いて記述することに課題がある。特に、無回答率が全国平均よりも7.3%高く、記述式解答が求められる問題への取り組みに課題がある。</p> <p>4 (3) 目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く (17.4/16.2)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を、言葉や数、記号を用いて記述することに課題がある。特に、無回答率が全国平均よりも8.6%高く、記述式解答が求められる問題への取り組みに課題がある。</p> <p>5 (1) 示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く (9.6/12.2)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○全国平均よりも15.6%低く、条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることに課題がある。特に無回答率が全国平均よりも12.3%高く、図形の形や数値などの条件が変わったときの応用力に課題がある。</p> <p>5 (2) 前の問題で示された情報を基に、示された図形の色がついた部分の面積を求める (32.2/47.8)</p>	<p>の平行四辺形の特徴を余分に書いているものが10%超えている。問題に合った必要な条件を絞ることが難しい。</p> <p>1 (3) 二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く (27.0/27.7)</p> <p>○正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、アの角が30°になる理由を言葉と数、記号を用いて記述することに課題がある。条件は合っているが、書いた条件だけでは、不十分な回答である場合が多い。</p> <p>3 (2) 合同な二つの三角形を巻尺で作ったとき、アの角が30°になるわけを書く (40.8/49.1)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された情報から基準量を求める場面を捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。</p> <p>2 (2) 20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く (13.0/13.1)</p> <p>○示された割引後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを求めることは、60%できている。しかし、言葉や数を用いて記述することに課題があり、無回答も17.4%と高い。</p> <p>2 (3) 示された割引後の値段の求め方から誤りを見出し、正しい求め方と答えを書く (41.7/47.9)</p>
---	--

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	56.5	66.6	○	10.1
算数の問題の解き方が分からないときは諦めずにいろいろな方法を考えますか	73.9	79.6	◇	5.7

○分からない問題をいろいろな方法で考えることは苦手だが、質問をして解こうとしている。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 57.9 / 泉佐野市 53.6 / 大阪府 57.3 / 全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【生命】 ○メダカの雌雄を見分ける方法は、概ね理解している。 2（1）メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ（83.5/78.0） ○生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果をもとに、考察し分析する力について課題がある。 2（2）よし子 生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間わけした観点を選ぶ（67.8/76.3） ○顕微鏡の名称の理解については、無回答が多い。 2（3）示された器具（顕微鏡）の名称を書く（無回答 22.6/16.1） ○植物の適した栽培場所について、成長様子や日光の当たり方を適用して、記述することに課題がある。 2（5）インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く（27.8/44.2）</p> <p>【物質】 ○水の温まり方について、予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題がある。 3（2）水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ（43.5/54.0）</p>	<p>○析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察することに課題がある。 3（6）水の温度と砂糖が水に溶けた量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く（20.0/28.9）</p> <p>【地球】 ○方位から判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析することに課題がある。 4（1）方位についての情報から、観察している方位を選ぶ（24.3/41.0） ○星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析することは、概ねできている。 4（4）観察した星座や雲の動きを選ぶ（73.0/65.0） ○水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念の理解に課題がある。 4（5）水が水蒸気になる現象について、その名称を書く（44.3/58.5） ○打ち水の効果について。グラフを基に考察して分析することに、課題がある。 4（6）地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ（80.9/84.2）</p>

3. 学習状況調査より

質問項目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	72.2	83.5	○	11.3
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	54.8	69.3	○	14.5
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思えますか	23.5	28.8	◇	5.3
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	44.3	54.9	○	10.6
観察や実験を行うことは好きですか	82.6	90.1	◇	7.5
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	67.0	75.3	◇	8.3

理科の授業で観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	72.2	80.4	◇	8.2
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	51.3	67.1	○	15.8

○理科や科学に対する関心が低く、理科の観察、実験への参加の仕方に課題がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	<本校回答率/全国回答率>（大阪府回答率）
【家庭生活の様子】	<p>○寝る時刻が一定でない。</p> <p>○将来の夢や目標を持っていない子が多く、自分に自信がない。</p> <p>○1日当たりのテレビやビデオを見たり聞いたりする時間が長い。</p> <p>○1日当たりのテレビゲームの時間が長い。</p> <p>○携帯電話、スマートフォンの使用率が高い。</p>	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <u><73.9/79.5>（74.7）</u></p> <p>○将来の夢や目標を持っていますか。 <80.9/86.5>（84.5）</p> <p>○自分には良いところがあると思いますか <67.8/76.4>（73.3）</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のため、テレビゲームをする時間は除く） 3時間以上<44.3/36.1>（40.5）</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか <u>3時間以上<27.8/17.0>（21.4）</u></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く） 3時間以上<12.2/5.7>（8.1）</p>
【家庭生活の様子】	<p>○読書への意識や新聞を読む機会が全国を下回っている。</p>	<p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか 週に1回～3回以上<11.3/17.6>（11.2）</p> <p>○新聞を読んでいますか 週に1回～3回以上<16.5/23.7>（18.6）</p> <p>○読書は好きですか <54.0/72.8>（70.1）</p>

	<p>○地域や社会で起こっている出来事に関心が低く、参加率も低い。</p>	<p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか <u><44.4/66.9> (57.0)</u></p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <u><55.7/63.9> (58.8)</u></p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか <u><26.1/44.8> (39.4)</u></p>
【家庭学習の様子】	<p>○家庭学習に関して、自主的な学習（予習、復習）をしている割合が低い。通塾率が高い。</p>	<p>○家で学校の授業の予習をしていますか <u><22.6/43.4> (35.8)</u></p> <p>○家で学校の授業の復習をしていますか <u><20.9/54.5> (50.0)</u></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日どれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む） <u>2時間以上<41.7/25.7> (26.5)</u></p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む） <u>3時間以上<20.8/11.9> (11.6)</u></p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか <u>通っていない<36.5/52.7> (47.9)</u></p>
【学校での学習の様子】	<p>○自主的な活動や決まりに対する意識が低い。</p>	<p>○あなたの学級では学級会の時間などに友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか <u><51.3/80.5> (75.9)</u></p> <p>○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか <u><80.8/86.1> (82.7)</u></p> <p>○学校のきまりを守っていますか <u><86.1/91.1> (92.5)</u></p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <u><57.3/65.8> (53.1)</u></p> <p>○授業の中で分からないことがあったらどうすることが多いですか <u>先生に尋ねる<33.1/24.8> (28.6)</u></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

(1) 「二小 伸びる子 10の力」

「生活をつくる力」・・・早寝・早起き・朝ごはん。身の回りの整理・整頓をしよう。時間を守ろう（5分前行動をしよう）

「学ぶ力」・・・前の日に自分で学習の用意をしよう。目と心と身体を向けて話を聞こう。わからないことは、聞いたり調べたりしよう。読書をしよう。

「社会力（なかよくする力）」・・・みんなにあいさつをしよう。思いやりのある言い方をしよう。友だちの良いところを見つけよう。

を目標に設定し、学校全体で取り組んでいる。

本校には、4年以上の児童の選挙によって選出された5、6年の児童による児童会がある。学習規律の一つの取組みとして、児童朝礼において児童会の役員が中心となり、児童の集まり方（静かに廊下を歩く、集まっても静かに待つ、帰るときも静かに教室へ戻る）を伝え続けた。その結果、全児童が予鈴前に集合し、私語のない状態で児童朝礼を始められるようになってきた。各教室でも、チャイムを守ることで学習時間を確保し、静かな環境の中で学習を行えるように、学校全体で取組みを行っている。

(2) 研究主題と研究体制

本校では、「言葉を大切にし、自ら考え、自ら表現し、伝え合う子どもを育てる」を研究主題に、全ての教科の中で「話し合い活動」を取り入れ、児童がうまく人間関係を築いていけることを目指して研究を進めている。児童の成長や実態に合わせ、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して適切に表現したり、正確に理解したりする力を高めることを目指して取り組んでいる。また、互いの考えを聴き合い、自分の思考を高められるような取組みを、児童の成長段階や実態に合わせ進めている。

全学年で音読指導を生かした群読集会を、各学年、年1回行い、取組みの発表の場として、聴き合える良い機会となっている。

(3) 少人数・習熟度別指導

算数科の少人数指導や習熟度別指導は、「基礎・基本の定着と児童一人ひとりのニーズに即した個別指導をより一層充実させるとともに、自ら学び・自ら考える力を育てる指導を充実させる」ことを目標にしている。

今年度、本校では、年間を通して、第3学年の算数科を、1学級2分割し、当該学級と少人数教室を使用した分割学習を行っている。第4学年の算数科は、週1時間をT.T指導、さらに、第5学年の算数科は、3学級4分割し、同じ時間に全学級と少人数教室を使用した学習を行っている。教材の研究、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価等について、学年・学級担任と少人数担当教員が綿密な打ち合わせを行いながら指導を進めている。

(4) 学力向上に向けて

月曜日と金曜日の1時間目の15分間に「朝の学習」を設定し、学年の児童の実態に合わせた国語・算数の課題を行っている。

5月と2月に本校で作成した「校内学力テスト」を第2学年から第6学年の全児童に実施し、取組みの成果と課題の資料としている。このテストの分析や、学力向上に関する話し合いの場として、校長、教頭、各学年の代表者、そして、学力向上担当で組織する部会を設け、指導体制・指導内容等について意見交換を行いながら、より効果的な学習指導法について取組みを進めている。

◎これからの取組み

国語科において、「書くこと」では、読書指導を引き続き行い、語彙力を高めるとともに、指導者が意識して、慣用句や故事成語などを引用して話したり、辞典の活用を随所に取り入れたりして、多様な表現の仕方に興味を持たせる指導を行う。また、討論の場では、発言内容の中から、中心となる考え、理由や根拠などを短い言葉で要約してメモなどに書き留めるような活動の機会を増やし、指導を行う。また、たくさんの情報の中から必要な情報を取り出す活動や、さらにその情報を分類したり関係付けたりした上で、分かったことや、自分が考えたことを文章にして書く機会を増やす。その際、構成や記述に条件を示すことにも留意していく。

「話すこと・聞くこと」では、授業の中でグループに分かれて話し合い活動を進めていくとき、司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら話し合いの観点を整理する指導を充実させ、全員が司会の役割を経験する機会を設けていく。

算数科において、「校内学力テスト」を5月に実施し、部会を中心に分析を行った。その課題を職員が共通理解した上で日々の指導に生かしている。また、2月に実施する同テストにおいて、その成果が出ると予想している。

本年度の全国学力テストも、全教職員で各担当（国語、算数、理科、児童質問紙）に分かれて分析を行った。本校の児童は、基礎的な知識や技能は比較的定着しており、朝の学習の成果が出ていると考えられる。しかし、図表、グラフ、地図などを含んだ文章の読解力、「選択式問題」とその根拠の説明力、自分の考えの表現力等に課題がある。これらの課題解決に向けて、例えば具体的な操作や算数的活動をもっと授業の中に取り入れたり、自分の考えを表現する時間を保障したりして、授業改善していく必要がある。

今年度実施の理科も含め、今後さらに、個々の児童の課題を確実に把握するとともに、言語活動の充実を図りながら、個に応じた指導のあり方の研究に努め、教材の研究、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価について、学校全体で研究を進めていく。